**第１学年１組　図画工作科学習指導案（１年１組教室）**

**１　題材名**　くしゃくしゃがみから　うまれたよ

**２　題材について**

1. 児童の実態について

本学級の児童は、明るく元気で、描いたりつくったりすることが好きである。普段から図画工作の授業に積極的に取り組む児童が多く、興味・関心が高い。これまでの授業では絵の具を用いてグルグルを描きそれを見立てたりイメージを膨らませたりしながら作品にすることを経験している。また、包装紙を用いて自分の世界を表現するなど、身近にあるものの形や色の特徴を感じ取ることも経験している。このような実態の児童に、思いの実現に向けて材料の特徴を生かしながら作る活動を提案する。

1. 本題材を指導するにあたって

本題材は、こどもたちに、平面の紙を意図的にくしゃくしゃにすることで粘土のように立体的に表現できることと紙の特性に気付かせることができる。そして紙を丸める、ねじる、ちぎる、ひっぱるなどの活動は造形的な遊びの要素があり、子どもたちが楽しみながら活動できることが期待できる。

指導に当たっては、まず平面の紙を「くしゃくしゃ」にする抵抗感を和らげるため、色々なしわの作り方の助言をする。また、手で紙を「くしゃくしゃ」にしながら自分の好きな形を作っていくことは、自分の手で二次元の平面を三次元の立体に変えていくことである。作品カードを書き友達に作品を紹介することで自分の手から生まれた大切な作品であることを押さえ、作品を大切にする心を育てたい。

表現の過程における発想や構想の能力を育てる指導については、自分が表したいものがのびのびと表現できるように扱いやすい色々な大きさや色の紙を用意する。そして子供たちがイメージしたものを大切にし、紙がどんなものに変わっていくのか子どもたちと共に楽しみながら指導していく。また自分が作り　たいものに近づけるためにはどのように工夫すればよいかわからない、材料の選び方、紙と紙の縫合方法、道具の使い方など特に丁寧に指導していく。

　　　鑑賞の指導では、友人と互いに表現や活動を認め合ったり、喜び合ったりできる場を設定する。

**３　題材の目標・評価規準**

1. 題材の目標

　　自分らしさの発揮　色薄紙の形を変えたり、色を組み合わせたり、作り方を工夫したりしながら、自分らしく表す。

1. 題材の評価規準（太字は、本題材において重点を置く評価の観点及び評価規準を示す。）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 造形への関心・意欲・態度 | **発想や構想の能力** | 創造的な技能 | 鑑賞の能力 |
| 自分の表したいものを色薄紙でつくることを楽しもうとしている。 | **自分の表したいものを思い付いたり、つくりながら新しい形を考えたりしている。** | 手などの感覚を働かせながら、色薄紙を丸めたり、ねじったりするなど工夫して表している。 | 紙を丸めたり、ねじったりしながら、手ごたえを感じたり、形の変化に気付いたりしている。 |

**４　題材の指導計画・評価計画**（２時間扱い）本時１・２/２時

※造形への関心・意欲・態度は、全ての時間を通し見取っていくため中央の欄左側に点線で表記した。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 学習活動 | 題材の評価規準との関連 | 〇具体的な児童の姿・<評価方法> |
| 第時第時 | １　紙を使って色々な形を作って遊ぶ。２　自分だけの世界の様子を考えながら紙に手を加える。↑行き戻り↓３　色々な材料を使いながら、思い付いたことを付け加える。４　できたものを楽しく見合う。 | 発想や構想の能力創造的な技能関心・意欲・態度発想や構想の能力鑑賞の能力 | 〇紙の特徴から表したい世界を見付けている。〇紙を切ったりまるめたりしながら、世界を考えている。<対話・行動観察>〇形や色を基に紙や材料の使い方を工夫して作っている。<対話・表現>〇紙を使って自分だけの世界を作る活動に興味を持ち、繰り返し作ったり、作りかえたりしようとしている。<対話・行動観察・表現>〇思いを語ったり、聞いたりしながら、お話や工夫のよさや面白さを味わおうとしている。<対話・行動観察>〇相手の話を聞き、紙をくしゃくしゃにする工夫を自分の表現に生かしている。<対話・行動観察> |

**５　本時の学習指導**（１・２/２時）

1. 目標

　　〇自分の表したいものを思い付き、作りながら新しい形や世界を考える。

（発想や構想の能力）

1. 準備

　　〇教師　包装用色薄紙、紙テープ、お花紙、リボン、画用紙、カメラ

　　〇児童　のり、はさみ、カラーペン、セロハンテープ

（３）〔共通事項〕（小学校学習指導要領図画工作編より抜粋）

　　ア　身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に思い付けてつくること。

　　イ　感じたことや想像したことから、表したいことを見付けて表すこと。

(４)展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動、予想される活動∞児童の具体的な姿（「」） | 指導の工夫（〔共〕:〔共通事項〕に係る内容） | 評価と手立て、評価規準、【評価方法等】 | 時間 |
| 提案 うすい　かみを　　やさしく　くしゃくしゃに！　なにに　みえるかな？１　学習課題をつかむ。・「おはながみ使ったことあるよ。」・「幼稚園でお花を作ったよ。」・「くしゃくしゃになったから紙がしわしわだ。」・「何かに見えるぞ。」２　自分で紙を選び、おはながみの形を変える体験をしながら、材料の形や色質感を生かし工夫して作る。∞　材料の形や色などの特徴を生かす方法（二枚つなげて色を合体させてみる、しわくちゃになるから凸凹さを表せる等）を考える。３　自分なりの思いを基に、くしゃくしゃを見立てながら発想して作る。∞　自分が表したい世界についてさらに考える。↑行き戻り↓∞自分の表したい感じになるように材料の特徴を生かし、工夫して作る。・「赤いおはながみをくしゃくしゃにしたら、バラに見えてきた。」４　題名を付けた後、１・２の川、３・4の川で見せ合って面白かったことなどを話したり、聞いたりする。　５　後片付けをする。 | 〇授業が始まる前に机をグループ活動の形にしておく。〇教師が説明しながらくしゃくしゃにしたり、ねじったり、紙の形を変える演示を行う。この演示が提案の代わりになる。〇おりがみと比較することでおはながみの特徴に気付くことができるようにする。〇紙目について触れ、おりがみを横にするとうまくきることができないが、縦にすると切れることを示すことで、紙の特徴を体験的に学び、平面ではなく立体的に作ることができるようにする。〇児童にくしゃくしゃにするところを見せ、本時の学習につなげることができるようにする。〇この活動中ペンや画用紙はまだ使用せず、おはながみをくしゃくしゃにする活動に重点を置く。〇色薄紙を丸めたり、ねじったり、つなげたりする活動を通して、形や色などをとらえる。〔共〕〇対話を積極的に行い、一人一人の考えていることを把握し、共感したり、助言したりしていく。〇４時間目の導入でくしゃくしゃを自分なりに表している児童の作品を紹介し、次の活動につなげていくと共に、友達の作品の良いところを見つけ、参考にすることができるようにする。〇表現したくしゃくしゃ紙が何に見えるのか問いかけ、さらにその世界を表すにはどうしたらよいか考えることができるようにする。〇ペン、画用紙を必要に応じて使用しさらに自分が表したい作品にしていく。〇丸めたり、ねじったり、つなげたりした色薄紙の形や色などを基に、自分のイメージを持つ。〔共〕〇表現したものに題名を付け、本時の活動を振り返る。〇友人と表現を見合い、互いに紙や材料の使い方について、工夫を見付けていくようにする。〇床にごみが落ちていないようグループ毎に確認する。 | 発　自分の表したいものを思い付いたり、作りながら新しい形や世界を考えたりしている。[努力を要する状況と評価した児童への手立て]〇教師が複数の材料やその使い方を紹介し、それをきっかけとして児童が自分なりの工夫を見付けられるようにする。 | 15’20’30’15’10’ |

**６　板書計画**

うすいかみを　やさしく　くしゃくしゃに！

なにに　みえるかな？　　　　　　　　　　　　　　あかい　くしゃくしゃ？

〇どんな　かみ？　　　　　　　　　　　　　　　　・ばらのはな

・かるい　　　　　　くしゃくしゃ　きる　　　　　・きんぎょ

・ぺらぺら　　　　　まるめる　　　ねじる　　　　・うめぼし

　　　　　　　　　　くっつける

**７　備考**　在籍児童数　３５名